

# 第3版の序

この『解剖生理学 人体の構造と機能』は2010年に初版が刊行され、2014年の改訂第2版を経て、このたび、第3版を発行することになりました。しかし、基本的なコンセプトや編集方針は初版刊行以来変わりません。本書は管理栄養士養成のための教科書として、管理栄養士にとって大切な「人間栄養を理解するための解剖生理学」という考えに基づいて、人体の全体像を栄養と関連づけて理解するのに役立つよう、人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織・器官・器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解することをめざしています。栄養とかわり深い主要疾患を中心に解説した「臨床への入門」の欄も設けられています。

一方、管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）は、4年ごとに改定するのが望ましいとされ、2019年3月に新たな基準が示されました。そこで、この第3版では、まず、新たな管理栄養士国家試験出題基準に沿って内容を見直すとともに、ブラッシュアップを図りました。また、用語の表記は管理栄養士国家試験に合わせたものに統一するようにしました。実際に本書を教科書として採用してくださっている管理栄養士養成校の教員の方々からいただいた貴重なご意見も参考にしております。さらに、高等学校の教科書で用いられる学生に馴染み深い用語も残すようにしております。管理栄養士国家試験では、医学・健康科学分野の研究の進歩や疾患診療の新しいガイドラインを取り入れた出題も見受けられるので、これらについてもできるだけ取り入れて、「臨床への入門」を充実するようにしました。第2版からは全体がカラー化されて、図などがとてもわかりやすくなっていますが、細部の見直しを図り、より正しく情報が読者に伝わるよう努めました。

これまでの版と同様に、この第3版も「テキスト」と「演習版」の2冊セットによる効果的な学習をねらった栄養科学イラストレイテッドシリーズの1つであり、本書はそのテキスト版です。基本・重要事項が、豊富な図表とともにできる限り簡潔またやさしく解説されています。姉妹版の『解剖生理学ノート 第3版』と合わせての活用をおすすめします。

なお、本書の内容・記述については、誤りなどが無いよう努めて参りましたが、本書をよりよいものとするよう、もしお気づきの点などがあればぜひご指摘・ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

最後に、今回の第3版の発行にあたり大変お世話になった羊土社編集部の方々はじめご関係の皆様から心から感謝いたします。

2020年1月

志村二三夫  
岡 純  
山田 和彦